

議会だより

57

のとちょう

2019. 8. 1

6月定例会議	2-3
一般質問	4-9
常任委員会レポート	10
議案をチェック	11
管内視察レポート	12-13
議員派遣レポート	14
主な議会活動ほか	15
まちかどインタビュー	
編集後記	16



あじさい花灯り回廊(平等寺)
イカ釣り船出港(小木港)
猿鬼歩こう走ろう健康大会
能登町消防訓練大会
金沢大学理工学域能登海洋水産センター設立記念式

一般会計補正予算 7377万4千円

補正予算可決

令和元年度 予算総額 179億3377万4千円

令和元年第3回能登町議会6月定例会議が6月6日から14日にかけて開催され、議案3件、諮問2件が提出された。議案については、一般会計の補正予算のほか条例改正と監査委員の選任について、諮問については、人権擁護委員候補者の推薦についてであり、議案は各常任委員会により審査し全議案を可決及び同意・適任とした。

最終日には、請負契約の締結についての議案が1件、議会から議員の派遣についての議案が1件提出されそれぞれ可決とした。

11日には6人の議員が町政全般について一般質問を行った。

補正予算の主な内容

○総務費 4125万1千円

消費税増税対策としてプレミアム付商品券事業を追加

○衛生費 69万4千円

墓地使用料・管理料返還金を追加

○農林水産業費 339万2千円

スマート農業推進型の事業採択による追加

○商工費 160万円

農林水産物加工開発センターの冷風乾燥機の改修費を追加

○教育費 2683万7千円

松波中学校体育館雨漏り改修費、中谷家住宅保存活用事業に伴う修理工事補助金を追加



ドローンによる除草剤散布

○監査委員の選任について

上野 博（上町）

○人権擁護委員候補者の推薦について

畑中 彰治（国光）

新谷 信之（不動寺）

○議員の派遣について（イギリス）

宮田 勝三 議員



【7月会議】

9日

7月9日に令和元年第4回能登町議会7月会議を開会し、請負契約の締結についての議案2件が提出され原案のとおり可決した。

○請負契約の締結について

（令和元年度 社会資本整備総合交付金小木地区都市再生整備計画事業 小木地区地域交流センター建設工事（建築））

○請負契約の締結について

（令和元年度 社会資本整備総合交付金事業 梅ノ木団地5号棟建設工事（建築））

令和元年第4回7月会議の審議結果

（賛否の分かれたもののみを掲載します）

賛成 ○、反対 ×、欠席 欠、— 議長は採決に参加しません。

結果	議案	議員名													
		吉田 義法	堂前 利昭	馬場 等	田端 雄市	金七 祐太郎	國盛 孝昭	市濱 等	小路 政敏	酒元 法子	河田 信彰	向峠 茂人	志幸 松栄	宮田 勝三	鍛冶谷 真一
可決	議案第56号 請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	×
可決	議案第57号 請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	×

いっぱん質問

6月定例会議の一般質問（11日）

問 学校適正配置実施計画の見直しを

答 再検討も選択枠の一つ



吉田 義法 議員

問

近年は著しい少子化により児童、生徒数が減少している。平成23年2月に小中学校適正配置基本方針と実施計画が策定されたが、内容と進捗状況は。実施計画にある鵜川中学校と能都中学校は統合されたが、生徒数も同等で通学距離も鵜川中学校の生徒より近い小中学校と松波

の整備のために策定し、中学校の設置は旧3町村にそれぞれ1校とする実施計画を定めた。実施計画にある鵜川中学校と能都中学校の統合は平成26年度に行ったが、小中学校と松波中学校の統合は、地域の実情や住民の皆様さまざま意見があり実施していない。実施計画が策定されてから社会情勢が変わってきているので、計画を見直し広く能登町全体で捉え再検討することも選択枠の一つだと思う。

答 町長

小中学校適正配置基本方針は、将来を担う子どもたちのより良い教育環境の整備を基本とし、地域における学校の役割も十分に考慮した教育環境



能都中学校

問 中学校の統合について

答 要望が上れば検討委員会を

問

中学校の生徒数が減少しており、能都中学校以外の3校は全学年1クラスである。これでは男子、女子の心身の発達に適切な教育が十分にできなくなっており、体育や音楽の授業、運動会や部活動などの集団活動の活性化が難しいと考える。このことを踏まえて、中学校教育の町のビジョンはあるか。また、中学校の統合について町の見解は。

少数学級より、できる限り複数学級で学ぶ方が、たくさん体験や経験をすることができ、子どもたちのために良いと考える。よって、少人数の中学校においては統合するべきで、小中学校においてはその時期が来ていると考える。

答 町長

能登町の教育基本理念は「能登の地と人に学び未来を拓くたくましい力を育み一歩前へ進む人づくり」であり地域社会の一員として学んでもらいたい。統合については避けては通れない道だと考えるが単なる数字や経済効率等を優先するものではなく地理的な事情や地域のつながりを考え生徒の皆さんが学力の向上と人間性を培うことができるかどうかと考えるべき。保護者や地域の方々から統合の要望が上げれば直ちに検討委員会を立ち上げ準備に取りかかる。



馬場 等 議員

問 警戒レベルを用いた防災情報とは

答 住民の取るべき行動を5段階に

問

警戒レベルを用いた防災情報はこれまでとどう違うのか、具体的な運用の仕方を説明してください。

答 総務課長

今回改正された警戒レベルは、洪水、土砂災害、高潮、内水氾濫に用いられます。警戒レベルが低い1から高い5まで区分されています。警戒レベルの発令は各市町村が行

います。警戒レベル3で

避難に時間を要する高齢者等は避難を開始してください。警戒レベル4では安全な場所へ全員避難をお願いします。

問

警戒レベル1、2で自主避難したいと町へ要望した時には、町は対応をしていただけですか。

答 町長

不安をお感じになった場合には、町に相談あるいは連絡していただければと思います。また、各地区が管理しています集会所というののも一時的に避難するための施設として指定しています。町会長さんに相談して早めの避難をしていただければと思います。

問

昨年9月4日の台風21号の時の避難勧告により実際に避難された人数等は。

答 町長

台風の進路が当町付近を通過する恐れがあり、人的及び物的被害が発生する可能性が高まったため、14時40分、管内全域

<避難情報等>		<防災気象情報>	
警戒レベル	避難行動等	避難情報等	【警戒レベル相当情報(例)】
警戒レベル5	既に災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動をとりましょう。	災害発生情報 ^{※2}	警戒レベル5相当情報 冠氾発生情報 大雨特別警戒 等
警戒レベル4	速やかに避難先へ避難しましょう。公的な避難場所までの移動が危険と恐れられる場合は、近くの安全な場所や、自宅内より安全な場所に避難しましょう。	避難勧告 避難指示(緊急) ^{※3}	警戒レベル4相当情報 冠氾危険情報 土砂災害警戒情報 等
警戒レベル3	避難に時間を要する人(高齢者の方、障害のある方、乳幼児等)とその支援者は避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を済ませましょう。	避難準備・高齢者等避難開始 ^(自治体が発令)	警戒レベル3相当情報 冠氾警戒情報 洪水警戒 等
警戒レベル2	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。 ^(県庁が発令)	洪水注意報 大雨注意報等 ^(気象庁が発令)	これらは、住民が自主的に避難行動をとるために参考とする情報です。
警戒レベル1	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報 ^(気象庁が発令)	

警戒レベルは5段階

に避難勧告を発令しました。それに伴い、17カ所に自主避難所を開設しました。(各地区公民館と役場能都庁舎及び崎山山村開発センター) 19時の段階で、最大129名の方が避難されました。

80%以上が高齢者の方でした。

問

現在の小学校、中学校における防災教育の実施状況について教えてください。

答 教育長

学校における防災教育は防犯を含む生活安全や交通安全とともに、安全教育の一つとして行っています。どの学校も取り組んでいるものとして、避難訓練があります。

問

小中学校の防災教育や避難訓練等を参考にし、能登町全体の小学校、中学校で独自の防災教育や避難訓練を行えないでしょうか。

答 教育長

小中学校の防災教育のレベルは平成28年度の「ぼうさい甲子園」において大賞を受賞するほどのレベルの高いものです。あくまでも学校は校長の指導のもとに行っております。その学校がある地域ごとによって防災のやり方が違うと思います。そこで考えてやって頂ければ一番いいかと思っています。



田端 雄市 議員

問 ヘルプカードを作成すべき

答 マークの普及状況で判断したい



ヘルプカード

問 石川県が、様々な障害など援助や配慮を必要としている方にヘルプマークを配布することとした。社会に浸透させ、実効あるものとするため、県内

答 健康福祉課長
カードには、緊急連絡先や必要な支援内容などが記載され、第三者の円滑なサポートや医療機関への速やかな搬送などの支援が受けられる。今後のヘルプマークの普及状況をしながら、窓口での配布、また希望によりヘルプマークと合わせての配布も行っていきたい。

問 高齢ドライバーの安全運転支援を

答 講習充実などを調査研究したい

問

70歳以上の免許更新の高齢者講習は、一度更新すると4年ないし3年は講習の機会がない。自分の体力の変化や運転技術の衰えを知る機会がない。地域の交通安全協会が年に2回、シルバー講習を実施している。このシルバー講習を充実させ、自分の現状を知り、運転生活のいっそうの安全を期したらどうか。その支援を町がするべきと考えるが。

答 町長

更新時以外の講習により、高齢者ご自身に現在のご自分の身体機能などの状態を知り、安全運転に努めていただくことは重要。

ある。今後、調査研究したい。事故防止対策については、関係機関と共同して、体験型を含めて高齢者の交通安全について学ぶ機会を増やすことで、事故を減少させたい。



高齢者講習が行われている能登自動車学校



堂前 利昭 議員

問 プラント能登店の出店白紙撤回について

答 地権者と事業者の間の問題であり、答弁のしようがない

問 圃場整備事業も平成25年から始まり、私の家の前のプラント能登店出店予定地がやっと圃場整備事業から除外された矢先に、プラント能登店の出店白紙撤回となった。今後の町の政策を教えてください。

答 町長 プラント能登店の立地につきましても、あくまでも事業者と立地用地の地権者との間で進められていたもので町が主導して誘致したものではありません。現在も法に基づく届出がないので、事業内容につきましても把握しており

ず、答弁のしようがない。プラント能登店の計画予定地であった場所に関しては、すべて個人所有の土地であり町の土地ではないので、その場所での企業誘致というのはいない。

問 能登町創生総合戦略について

答 多方面から一つ一つを積み重ねて取り組んでいく

問 基本的方向と具体的施策の中で能登町の伝統・地場産業を受け継ぐ人材確保と育成は具体的にどう

んな取組か。担い手不足と言うが、どう担い手を増やすのか。

答 町長

平成30年7月に町の定住促進協議会と農林水産課職員を含めた数回にわたる移住相談の中で、町内での営農に将来性を感じ移住を意思し、昨年12月に夫婦で首都圏から1

報発信方法やインターネットを使った商品を販売するためのマーケティング方法を学ぶ授業を実施している。

ターンした事例がある。能登町の未来のつくり手である高校生に対して、水産、農業を学べる能登高校の地域創造科において私が直接能登町の農林水産業について直接生徒に伝える授業を行っている。昨年度から能登高校魅力化プロジェクトとして、地域を学びながらその上で、映像を使った情



能登高校で農林水産業の講義を行う持木町長

問 その他質問

問 町参事の役職について3月定例会議で町参事が町長より任命されましたが、町民の皆さんに細かく説明せよ。

答 町長

町参事は職名である町参事は、あくまでも職名であり、特命事項として、総合創生戦略を全庁的に推進するために、各課の連絡調整、指導助言および渉外を担当するものである。

特命の内容は、5つある。
1つ目は、能登町海洋教育研究施設に関する事業
2つ目は、のと九十九湾観光交流センターに関する事業
3つ目は、婚活支援事業に関する事
4つ目は、指名審査委員会に関する事
5つ目は、指名審査委員会で審議する入札及び契約に関する事。



志幸 松栄 議員

問 防災、減災対策について

答 積極的に自主防災組織の結成を望む

答 町長
 当町における自主防災組織は、平成30年度末で108の組織が結成されており、率としては65.8%である。
 また、防災士は、まず役割としては地域の防災力を高めるほか組織の防災体制確立の担い手としての役割、そして、災害発生時には、避難誘導、

問
 自主防災組織の組織率は。また、防災士の現状と防災士に対する町の課題、今後の展開は。さらに、こども防災手帳に対する町の見解を問う。

さらに、救助に当たるという役割もある。
 今後の課題や展開としては、引き続き、防災士の資格取得に対する支援や育成研修の情報提供等に努め、町のイベントや総合防災訓練の際には、防災士の方に参加いただき、防災士の存在そのものを、重要性和PRにも努めていきたい。次に、こども防災手帳の件では、学校や保護者の方々などの意見等を聞きながら今後検討していきたい。



自主防災組織による避難訓練

魚市場の荷揚げ場整備に関しては、能都支所は

問
 観光事業と産業の現状について、イカの駅の内容や、魚市場の荷揚げ場整備、さらに、水産物鮮度保持施設の実状について説明されたい。また、観光と産業を連携した町づくりについても、どう考えているのか聞きたい。

答 農林水産課長
 水産物鮮度保持施設の稼働状況では、施設で取り扱う魚種にあつては全体的に不漁で流通量が少なかったため、近隣漁協の支所から受け入れを行い、稼働率の確保に努めた。施設完成により水産物の流通が調整できるようになったことで、魚価の底上げにつながっていると聞いている。

答 町参事兼ふるさと振興課長
 大型連休中の観光入り込み状況は、町の宿泊施設及び観光施設のほとんどの施設で増えている。町では、今後もインター

老朽化してきている。県漁協では施設の統廃合を含め総合的な検証を行う予定と聞いている。今後は県漁協の動向を注視していきたい。
 また、観光と産業の連携としては、産業経済団体は、体験観光もさることながら、農林水産物の品質あるいはその付加価値の向上も図り、加工、販売、一体化による6次産業化、また、地域ブランド化といった役割も担っている。
 町としては、グリーンツーリズム等に取り組み地域の方々に支援したいと考えている。

問 自然環境を活かした町づくりについて

答 観光交流や産業の機運の向上につとめる

問のとキリシマツツジについて

答 さらに充実した振興を図りたい

問

町の花は「のときりしま」であるが「のとキリシマツツジ」への改名を

答 町長

町の花・木・鳥・魚についてはそれぞれ「のときりしま」「もちの木」「ヤマセミ」「鱒」として町のシンボル選考委員会にて応募のあった中から決定した。改名については、決定した経緯を考慮しながら慎重に検討させていただきます。

問

今後の当町の、のとキリシマツツジに対する取り組み方は

答 町長

植物公園に対しては、本来4年計画であったものを前倒しして3年で千本近く植えた。今後も株数を増やしていく方向でしっかり取り組みたい。それが植物公園のにぎわいに通じると思う。

問

英国視察前後の対応は

答 町長

知事への報告は、英国視察から帰ってきた後、NPO法人のとキリシマツツジの郷の代表と一緒に県庁への訪問を考えている。また今後の、のとキリシマツツジに対しては、石川県の歴史遺産に

認定されていることから、今後の取り組みを、なかなか2市2町の独断で判断するのは難しい。4市5町がかかわっているの

で、その辺はじっくり検討させていただきたい。



向峠 茂人 議員



問 植物公園の指定管理者について

答 地元を含め広く募集したい

問

現在の管理者から公社に戻すべきでは

答 町長

この2年間の管理実績等を総合的に検証し、公募も含め適正な指定管理者の候補選定に努め、公募する場合は施設の指定管理者募集要項及び業務仕様書により地元も含め広く募集する。

公社自体は、今非常に手薄で、現段階では申請しない方向である。

総務産業 建設委員会

國盛孝昭 (委員長)
吉田義法 (副委員長)
小路政敏 酒元法子
河田信彰 志幸松栄
宮田勝三

6月7日に委員会を開催し、付託された議案1件を審査、全会一致で可決すべきものと決定した。審査過程での主な質疑応答は次のとおり。

ない。

付託された議案のほか、農林水産課から奥能登2市2町のイノシシの処分や利用についての今後の見通しについて説明があった。

また総務課からは能登自動車学校の経営状況と高齢者講習の実態などについて説明があった。

問 有線放送の事業はいいが、インターネットの配線については、事業費で有線整備して何十億も使う。無線ランで整備することはできないのか。お金も安いはず。

答

これからはそうになっていくかもしれませんが、現在は国庫補助金をもらうには今のメニューしか

教育厚生 委員会

田端雄市 (委員長)
馬場 等 (副委員長)
堂前利昭 金七祐太郎
市濱 等 向峠茂人
鍛冶谷真一

6月7日に委員会を開催し、付託された議案2件を審査、全会一致で可決すべきものと決定した。審査過程での主な質疑応答は次のとおり。

問 墓地公園利用規則の改正について説明せよ。

答

これまで使用者がキャンセルして返還を申し出たら3年以内の方を限定していたが、3年を超えた方についても既存使用料の5割を返還、管理料についても残りの年数分を還付すると変更したい。



墓地公園

問 松波中の体育館改修はどのような工事か。

答

体育館に隣接した更衣室に雨漏りがあり、防水工事を予定。また、その際にアスベストがあることが判明したので、この除去工事も同時に行いたい。



松波中学校体育館

問 文化協会の事業費70万円は韓国との交流事業とあるが、この交流には言葉ひとつでも気をつけてほしい。

答

平成9年から交流してきた経緯があり、本年文化協会の15周年記念事業の一環としてこの事業を計画している。

問 国民健康保険税条例の一部改正は、高額所得者層の負担を上げて、低中間所得者層の保険料を下げるということか。

答

国保の6割の方が低中間層なので、その方達にとって負担軽減になると考えている。



議案をチェック

6月定例会議の議案質疑

令和元年6月定例会議の議案質疑では、5名の議員が質疑をしました。
主な質疑、答弁は次のとおりです。

田端雄市 議員
スマート農業の推進について

スマート農業のイメージは、ロボットの活用とか、情報通信事業、ICTの活用というイメージを受ける。具体的な説明を。

農林水産課長

中斉集落でドローンを活用し除草剤、農薬散布を行う。農業では今、担い手の高齢化が急速に進み、労働力不足が深刻になっている。そういった課題を解決していくために国が考えた対策の一つがスマート農業の推



にに応じて購入できる。
町では、見込みの人数を非課税者を約4500人、3歳6カ月以下の子供は、250人ぐらいを見込んで

この事業の周知方法は、広報8月号に掲載し、町のホームページ、また有線放送の文字放送などでPRしていきたい。

宮田勝三 議員

墓地使用料の返還金について

墓地使用料は墓地の区画で違いますよね。4件での使用料や管理料の説明を。

住民課長

今回補正は、墓地の返還が4件。そのうちの1件は当初予算で対応。残りの3件は、今回、使用料と管理料の返還を行うため69万4000円の追加を行った。

内訳は、使用料の返還は3件分で64万円。内訳は、6平方メートルが1件、この使用料が48万円、半額を返還すると規則で定めているので24万円。

5平方メートルのものが2件、この使用料が40万円なので半額で20万円の2件で40万円。合わせて64万円を使用料の返還金である。

また管理料は10年分2万円を納付で、残りの年数の分を返還する。今回の3件分は、いずれも9年間残っているの9年分の返還で5万4000円を計上し、計69万4000円である。

向峠茂人 議員
中谷家の住宅保存活用事業について

今回の29万7000円は、どういった修繕をするのか。今後の文化財である中谷家をどういった保護をしていくのか。

教育委員会事務局長

中谷家母屋の屋根瓦や天井の雨漏り箇所の修理を行うもので、総事業費は118万8000円を予定。
このうち県が2分の1補助の交付が見込め、残りを所有者の中谷家が4分の1、町が4分の1を負担する。

今後の中谷家の屋根瓦の補修については、中谷家は住宅保存活用事業で国指定の重要文化財指定を目指している。これが採択されると、国の補助により大部分が修繕できる見込み。

今年度は境界測量、調査報告書の作成予定である。9月に予定している住宅



活用保存事業の委員会を開き、文化庁現地指導も含め、調査成果が確認できれば重文指定の申請をして、令和2年に採択に向けた計画を進めている。

酒元浩子 議員

プレミアム付商品券の消費期限について

消費期限を書き込まなければならぬのだろうか。どうしても期日に使われなかった人がいるのではないだろうか。

企画財政課長

まだ周知されていない事業であり、そういう苦情はまだ承っていないが、使用期限は10月1日から3月末日ということで、数カ月あります。その間に使用してください。

これは国庫補助事業であるから、延ばすことはできない。

鍛冶谷眞一 議員

ふるさと納税について
ふるさと納税が平成30年度は、2億67万8000円の大きになったという説明があった。自己財源の少ない私どものような地方自治体にとつては大変ありがたいことだが、改めて、実質は寄附品目を掲載するふるさとチョイスというサイトや、生産者の原価であったり運送費等。この概略について説明を。

町参事兼ふるさと振興課長
ふるさと納税制度は、納税者個人が生まれ育ったふる

ることに貢献したい、あるいはかわり深い地域を応援したい、その思いをみずからの意思で納税先を寄附という行為で選択できる。それにより寄附された方へ能登町のサポーターとして町の特産品等を返礼品として寄附の3割程度を送っている。

30年度の収入額は2億67万8000円の収入があるが、支出額は1億4500万円である。差し引きすると残額が約5500万円が町に残る。

約1億が返礼品である。この中には、送料を含みます。残りの約4500万円は、非常勤職員1名の人員費、そのほかは手数料である。

手数料は、クレジット決済をする場合はヤフージャパンの決済で寄附金額の1%を手数料として支払っている。ふるさとチョイスのポイントプラン、JTBで寄附金の9%。それからポイント管理する管理費用として返礼品額の20%。

昨年度からはマルチペイメント決済では、コンビニ、アマゾンペイ、携帯電話の通信キャリアやATMからの決済も可能で、寄附者の利便性を図っている。

このような手数料で約3600万円であるので、2億に対して1億4500万円はこのように使われている。

総務産業建設常任委員会管内視察レポート

総務産業建設常任委員長 國盛 孝昭



6月4日(火)に新統合庁舎の工事の進捗状況を確認するため、教育厚生常任委員長と事前に協議し、両常任委員会合同で視察を行った。

平成から令和へと元号が変わり、新時代に相応しい新統合庁舎と柳田総合支所及び内浦総合支所の建設が着々と進められている。

令和2年1月1日からそれぞれの新庁舎が開庁し新体制でスタートする。まず庁舎建設室の職員から開庁までの引っ越し作業やスケジュールなどについてヒアリングを行い、現地では実際に内装を見ながら現場監督からの説明を受け、各議員は質問などをしながら進捗状況の確認をした。

秋には完成が見込まれており、町民を対象とした内覧会も計画中で、令和2年3月には町政15周年記念イベントと完成式典も予定されている。

旧能都町、柳田村、内浦町が合併して早15年、いよいよ能登町としての第2章が幕開けしようとしている。

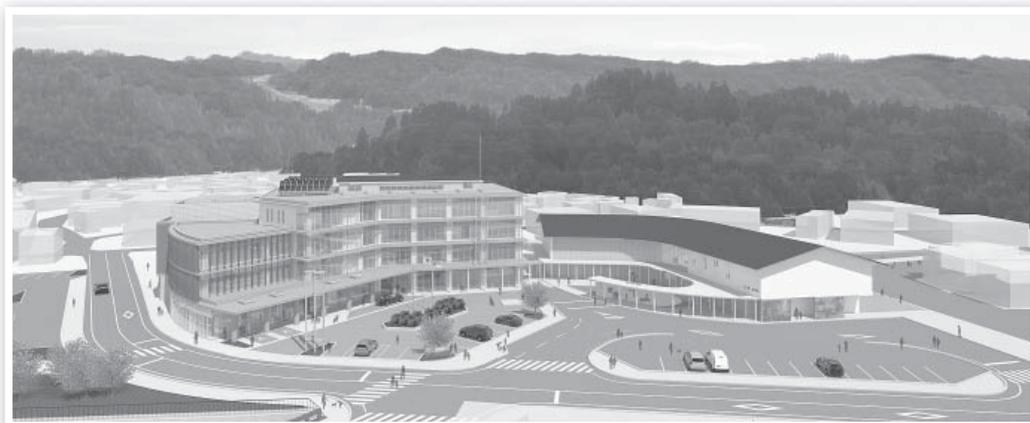
この能登町が輝かしい未来となるよう、そして何より町民のための町政となるよう、町職員は元より、議会としても議員一人ひとりが全体の奉仕者としての基本と向き合い、町民の代表者であることを再認識するとともに、その職責をしっかりと果たしていかなければならない。



庁舎内の視察



完成間近となった新統合庁舎（外観）



完成イメージ

教育厚生常任委員会管内視察レポート

教育厚生常任委員長 田端 雄市



6月7日(金)に、能登町こどもみらいセンター、中谷家、ドブネ収蔵庫の3か所を視察した。

①能登町こどもみらいセンター

全国的には、放課後児童クラブ（学童保育）は、待機児童の問題が問われている。本町は、どうであろうかという考えから視察をした。定員があり、今のところ一杯とのことで、これ以上の受け入れは困難とのことであった。

当センターは、児童館も併設されており、保護者の方々の仕事・生活の多様性を十分に考慮し、場合によっては、個別の相談を通して待機児童のない運営を望みたい。

こうした要望に応えるためには、指導員不足もあり、苦慮していることも伺った。指導員の増や働き方の工夫など、上部機関である健康福祉課の汗に期待したい。

②中谷家

中谷家保存活用事業について、現状の確認を所有者の中谷直之氏の説明を伺いながら視察をした。経年した資材などの手配や補修等、困難を極める事業は想像に難くない。その意味で、時間の経過は補修の時期を失うことにもなる。

一方、中谷家を多くの人に認知してもらうために、そばの販売や芸術作品（塗り物・木製品等）の展示販売も時に行われていることもあるようである。

文化財を保存することをもって、終わりとしてはいけない。そこをスタートにして、何を創造していくのか、交流人口を増やすのか、町の魅力の発信か、町の資源をどこまで生かし切れるか、それを課題に取り組んでいただきたい。



中谷家



能登町こどもみらいセンター

能登町イギリス視察についての報告

派遣議員 宮田 勝三



このたびの訪英につきまして、報告します。

持木町長を団長に、NPO法人のとキリシマツツジの郷大路理事長、政田事務局長、五田農林水産課長と私の5人で、寄贈候補地である「ウィズリーガーデン」、「サヴィルガーデン」、「エクスベリーガーデン」を訪れました。

1日目は、英国で国際栽培品種登録機関アドバイザーをしている大槻葉子さんと英国を代表する植物専門家のマークさんに、2日目には、昨年当町にお越しいただいたロスチャイルド家のシャーロットさんとその弟のライオネルさん、また、ロスチャイルド家が所有するエクスベリーガーデンの庭師であるトムさんにお出迎え、ご案内いただきました。

2日目の会食後、ライオネルさんに、私のネクタイをお渡ししたい旨を申し上げたところ、快く受け取られ、「次の寄贈の際に使います」という大変光栄なお言葉をいただき、今でも大変嬉しく思っています。そのネクタイというのは、赤地にのとキリシマツツジを刺繍したものです。

お別れの時、私が前日見た夢の話をさせていただきました。それは、エクスベリーガーデンの一部に日本庭園が出来た夢、当町の柳田植物公園の一角に「シャーロット」、もしくは「ロスチャイルド」の名の入ったガーデンが出来た夢で、訪英をきっかけに夢が実現すればと思っていますという話をしました。

このたびの訪英とのとキリシマツツジ寄贈の経緯を振り返り、NPO法人のとキリシマツツジの郷の方々が多岐にわたる調査・研究を重ね、多くの人的交流を大切にされ、花を愛し今日に至ったことに敬意を表します。能登町議会一丸となって支援することはもちろん、少しでも交流人口拡大につなげることができればという思いです。



王立園芸協会が運営するウィズリーガーデン



大槻さんとマークさんも参加しての集合写真



ロスチャイルド家のエクスベリーガーデン

4月から6月の主な議会活動

各学校入学式

4月2日 広報編集特別委員会

4月11日 石川県町村議会議長会定期総会・功労者表彰式（内灘町役場）

4月18日 広報編集特別委員会

5月7日 議会運営委員会

5月8日 新潟県十日町市議会行政視察（米町）

5月21日 奥能登広域事務組合協議会議員協議会

石川県町村議会議長会臨時総会

5月27日 議会運営委員会

5月28日 全国町村議会議長・副議長研修会
（東京都29日まで）

5月31日 奥能登広域事務組合協議会議員協議会・臨時会

奥能登クリーン組合議会臨時会

各種団体総会等

6月5日 金沢大学理工学域能登海洋水産

センター設立記念式

6月4日 全員協議会・新統合庁舎現地視察

6月6日 第3回能登町議会6月定例会議（議案上程）

6月7日 常任委員会

6月11日 第3回能登町議会6月定例会議（一般質問）

6月14日 第3回能登町議会6月定例会議（採決）

6月29日 令和元年能登町イギリス視察派遣（7月4日まで）



金沢大学理工学域能登海洋水産センター設立記念式



新潟県十日町市議会視察受入

平成31年度・令和元年度出欠状況表

○…出席 欠…冠婚葬祭 通院 私事都合等により欠席 一…対象外 オ…オブザーバーとして議長が出席

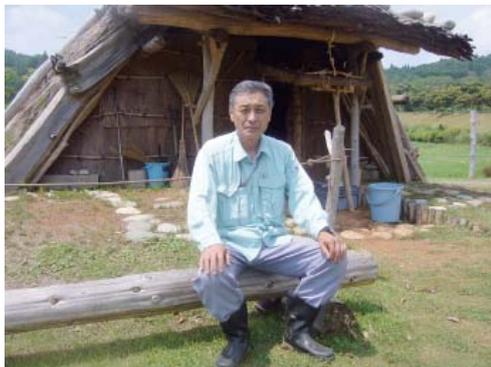
月 日	会議名	議員名													
		吉田 義法	堂前 利昭	馬場 等	田端 雄市	金七 祐太郎	國盛 孝昭	市濱 等	小路 政敏	酒元 法子	河田 信彰	向峠 茂人	志幸 松栄	宮田 勝三	鍛冶谷 眞一
31/04/02	広報編集特別委員会	○	○	○	-	-	-	-	-	○	欠	-	-	-	○
31/04/18	広報編集特別委員会	○	○	○	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	○
01/05/07	議会運営委員会	-	-	-	○	○	○	-	○	-	オ	○	-	○	-
01/05/27	議会運営委員会	-	-	-	○	○	○	-	○	-	オ	○	-	○	-
01/06/04	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
01/06/06	6月定例会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
01/06/07	各常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
01/06/11	6月定例会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
01/06/14	6月定例会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠



インタビュー

今回のまちかどインタビューは、真脇遺跡縄文館館長の高田秀樹さんです。

(インタビューー 馬場 等)



高田秀樹館長

◆何をされている方ですか？
主に縄文時代のことについて研究しています。

◆お勤めはどちらですか？

真脇遺跡縄文館の館長です。真脇遺跡は1982と83年に発掘調査が行なわれ、縄文時代を代表する遺跡として、国指定史跡及び重要文化財指定となっております。縄文館は1997年に開館しています。史跡整備のため1998年から2015年まで発掘調査を実施して、第1期史跡整備として環状木柱列と板敷き土壇墓を整備しました。

◆そこではどんな事をされていますか？

真脇遺跡の出土品を整理して、その成果を展示に活用しています。見学者への対応はもちろんですが、各分野の研究者への対応も行なっています。近年では縄文小屋や丸木舟を作り、縄文時代の技術についての検証を行いました。

◆最近は何に取り組んでいますか？

今は2008年に能登町に寄贈された坂坦道先生の彫刻の展示作業を

しています。先生は恋路の出身です。10歳で北海道札幌市に移住され、1964年に日展で特選を受賞し、1966年に日展会員となり北海道を代表する彫刻家となりました。1982年には日彫展で西望賞を受賞し、同年札幌市民芸術賞も受賞しました。1976年には代表作となる「丘の上のクラーク」を製作しました。



坂坦道さんの代表作『丘の上のクラーク』

作家活動の一方で、北海道女子短期大学で長く教授を務め、文部大臣から短期大学教育功労賞を受けています。

1998年、77歳で逝去されました。2008年に遺族から能登町に作品やスケッチなど1163点が寄贈されました。2009年から内浦庁舎4階で展示場を開設し、一般公開されていますが、役場庁舎の建設に伴い旧真脇小学校の食堂に

移されることになりました。移動後に公開を予定していますので、彫刻等の展示や解説パネル作りをしています。今年は先生の生誕100周年となりますので、企画展示を計画しています。

◆今後の真脇遺跡周辺はどのようになりますか？

これまでに真脇遺跡縄文館を始め、第1期史跡整備を実施しました。現在は国指定有形民俗文化財「能登内浦のドブネ」収蔵庫を整備し、ドブネの修理を行なっています。2020年に修理が終われば一般公開する予定です。その後は、旧真脇小学校校舎を利用して能登町総合博物館と埋蔵文化財センターとして活用出来ると思うと思っています。そうすると、真脇遺跡を核として能登町の歴史を学べるエリアとなります。



恋路海岸にある『恋路物語』

次の定例会議は9月6日開会です。

議会の日程については、決定しだい町のホームページ、または有線テレビでお知らせしています。ぜひ傍聴にお越しください。ご意見などありましたら、議会事務局へご連絡ください。

広報編集	
特別委員会	
委員長	酒元 法子
副委員長	堂前 利昭
委員	吉田 義法
	馬場 等
	河田 信彰
	鍛冶谷眞一

編集後記
今回インタビューを高田館長にお願いした理由の一つとしては、坂坦道氏生誕100周年を期に、再評価してほしいとの思いを、共有できたからです。年内に、旧真脇小学校で坂坦道氏の素晴らしい作品の数々が公開されます。真脇遺跡縄文館、来年には「能登内浦のドブネ」も一般公開予定です。ぜひ行ってください。
委員 馬場 等